

石城時報

石城時報社 編輯 田中 弘成
印刷 加藤 活版所
發行 加藤 活版所
電話 一四七五
廣告料 一行十四字 日金五十銭
日刊 (日曜、祭日、休刊)

湯本町の希望を入れ 三十石の水を供給

縣の意嚮を聞いた上 深更土木委員会で決定

湯本町では飲料水不足のため昨九時平町役場に土木委員を開設の如く急務町会を開いて協議の結果、湯本町の希望通り六名と共に平町を訪問し、町長に助する事になった。水の供給は對し一日三十石宛の水を補助し消火栓による管で運搬は毎夜午後十時平町消防組の撤水自動車に平町委員の土木委員を訪問し、この任に當る筈である。

婦人問題講演會

石城郡の初秋盞は早きは三輪に地曳網、冬季は蛤、ナガラミ、進んだが養蠶同業組合等の違憲北寄貝の漁業をなす者相當多く防止宣傳を奏し異常な高温をなつたが近年大敷網漁によつて持続しながらはとんど病蠶なく地曳網漸次少くなる傾きあるこの分では豊作間違ひなしと樂ためこれが善後策を講じつゝ、あ観されるに至つたが蠶兒は意外が最近植田町岩間海水浴場の進行し例年より四五日早く廿二日位で巢上出来る模様で市アサリ採取をなす者屢々見受場へは廿五六日頃から出廻る見込み立つたので四倉前市場の廿七日を筆頭にいづれも昨年より三四日繰上げて開場するに決定既に準備に着手した、相場は漲の定期が回復模様なので六十掛確實の目算立ち養蠶家の意氣も増加すべく見られてゐる。

平警察署跡を 公會堂にする計劃

各町村でも應援する 十萬圓の工費を要す

平町に公會堂の必要は早くから能となつた爲め會合の場所として叫ばれてゐたが、各種の會合には劇場でも借り受けるより外は元郡役所の會議室を適宜使用に道がなく不便の上ないので出來たので公會堂建築計劃も何公會堂を急速に建設する氣運に等具体化さずに居たが、元郡役所を石城郡内各町村でも建設費所は愈々平警察署が移轉する事の一部を負担しても良いから是となり、それに各種團體が會談非平町に理想的集會場としての室の半分を使用し各種の會合で公會堂を建設して貰ひたいとの自由に會議室を使用する事が不意向を持つてゐるので平町當局

石城の初秋盞

成績よく上りも早い 六十掛け豫想

石城郡の初秋盞は早きは三輪に地曳網、冬季は蛤、ナガラミ、進んだが養蠶同業組合等の違憲北寄貝の漁業をなす者相當多く防止宣傳を奏し異常な高温をなつたが近年大敷網漁によつて持続しながらはとんど病蠶なく地曳網漸次少くなる傾きあるこの分では豊作間違ひなしと樂ためこれが善後策を講じつゝ、あ観されるに至つたが蠶兒は意外が最近植田町岩間海水浴場の進行し例年より四五日早く廿二日位で巢上出来る模様で市アサリ採取をなす者屢々見受場へは廿五六日頃から出廻る見込み立つたので四倉前市場の廿七日を筆頭にいづれも昨年より三四日繰上げて開場するに決定既に準備に着手した、相場は漲の定期が回復模様なので六十掛確實の目算立ち養蠶家の意氣も増加すべく見られてゐる。

海水浴客の 蛤採りは迷惑

石城郡錦村中田漁業組合では北寄貝の繁殖を圖つて以來夏季は僅少の豫算で現平署の應舎を縣から拂下げて公會堂を建築する方が時宜に適してゐると主張する者もあるが、何れにしても平町に公會堂建設が實現する事は近い將來にあるものと見られてゐる。

農事講習會

石城郡神谷村農事試験場では八月十九日(舊七月十五日)午前九時から午後三時まで同場にて農事講習會を開く筈で農事試験場高崎集會場のない平町に公會堂の建設の自給肥料の効果と其の利便に就いての講演がある。

盗み損れて殴る

平町應舎小路前科一犯杉本松太郎(三八)は十三日午前四時頃隣家の松崎松藏方畑からかぼちやを窃取せんとしてゐるのを松藏の妻たか(四二)が発見大聲で泥棒を呼びたのに憤慨し、たかを捉へて激々殴打したので、たかは松太郎を相手取つて平署に告訴を提起した。

お盆は近づくと 近頃の書入時として 客の吸収に余念がない

此處兩三日の後に迫つた平町の被服の準備に余念なく當日をまよお盆は不景氣の中にも大に町民ちわびてゐる。

鮮人坑夫 跳ね飛さる

内郷村大字高坂居住磐城炭礦坑に新盆の家(特に門閥家)では庭前にをどりやぐらを立て盆踊りの人達を待ちわびる當日午後六時よりはじやんがら念佛の人達幾十組と盆踊の老若男女が町内に十四日午前五時頃猛烈な毒ガを練り歩き新盆の家の橋の下を發生し、入坑作業中の坑夫二を一夜を痛めて全町を廻る筈十五名は早くもそれと氣がついて校教員官島での子女史は十六日平警察署署では同夜は町内を乗たので坑外に逃げたが、逃げ遅れ午後六時から仙臺放送局に於て合自動車の通行を禁する筈で踊れた坑夫同村大字白水瀬谷一松童話「物言ふ紙を子供の時間とすきの町民達は目下變裝用の(二七)は遂に毒ガスに中毒し無して放送する事になつた。

不動澤炭礦に 突然毒ガス發生

從業員二十五名避難

女教員放送

平窪小學

平第一臨海學校通信(第六信)

八月十一日(晴)
今日限りだと思ふと、床離れするの惜しい様な氣がしてなりません。やつと起き出て寝具、その他荷物をすつかりかたづけてしまひました。部屋の塵はごん／＼運ばれお掃除はすん／＼はかどりました。みんな僕等の手……共同で。
今日が終りの海に出ました。僕等と別れるがいやか、なんどなく雲は曇つて見え、砂もあつ／＼とあります。でも入らないと損をする様な氣がします。寒いのを我慢して入りました。大きい波、小さい波に今日まで銀へた体をあて
練へた術に波を切る、愉快、愉快。いつまでも／＼とまつてるたい様です。
最後の盡食、さしみと魚の煮付け……この食卓も今日でお別れだ。いろいろお世話になりました。さようなら。
休み時間に体重をはかりました。みんなふえました。中でも二キログラムもふへた人が五六人もあつたのは驚きました。
午後、團體として、先生に導かれる最後の時、こふ思ふと海岸に進む足なみも元氣のな
臨海學校は今日で終りました。いろいろのエピソードを残して……。

夫期鮮人三船命雄(四三)は十四日午前六時頃會社の作業を終えて歸途常磐線鐵道線路を通行中下り列車に觸れ跳ね飛されて無慘の死を遂げた。
▲トマト品評會 相馬
農蠶學校にては各學生自家にて試作せる最近流行のトマトを持参させ品評會を來る十八日開催する由にて尙ほトマトの珍料理方も傳授する。

立川で飛行機墜落

(東京電話) 陸軍空射砲演習觀戰のため十四日午前八時埼玉縣立川飛行場を離陸した陸軍飛行機は飛行場の上空を一週した後二百米の上空に於て突然機關部に故障を生じ飛行場の北芳砂川村の桑畑に墜落し機体を滅茶々に破壊し乗組員は死傷した、死傷者氏名左の如し。

▲死傷者 參謀本部作戰部長陸軍少將小川恒三郎、同課長陸軍大佐藤岡清藏、航空班長陸軍少佐阿部菊一、操縦士陸軍大尉山本雄、副操縦士陸軍中尉長國徳、參謀本部陸軍少佐深山龜三郎

原町通信

▲町村吏員講習會 來る十八、十九の兩日中村町元郡役所に於て各町村吏員の事務講習會を開催し縣官は是れが講師をなす由。

▲キリスト講演 十二日午後七時より原町幸町教會に於て郡山教會中山新平氏の講演ありたり。

▲死体発見さる 小高町字吉名七迫松林に死後一ヶ月位経過したる死体を去る九日附近の者発見したるも年齢又は何者とも判明せず最寄に照會中の由。

▲溺死体漂着 大壘村岸海岸に去る十日二十五才位の男子漂着したるも何れの者とも不明にて村役場に於て一時假埋葬になしたり。

▲小高町長辭任 小高町長二本松氏は本年就職せるのみにて任期満きに拘らず病

氣の故を以つて辭任の意ありしが去る十一日正式に發表し近日中町會招集の筈なるが目下候補者として物色されたる人々は現町議三島氏、宇佐見氏、前町長大曲氏等尤も呼聲高し。

▲雨乞ひの衆議 原町を中心とする高平村、石神村、大壘村、太田村の一町四ヶ村は寄々協議を重ね兩三日中大目的に雨乞ひを舉行せんとする由なるが場所は相馬の高山國見山に於て毎戸洩れなく集合の上大篝火を燃やす計劃なり。

佛國マルソー會社元詰 生葡萄酒

マルソー・ブランク・白 1.10
マルソー・ルージュ・赤
良品にして安價賣行飛ぶが如し

西村屋藥局

ハガキ集

投書歓迎

▲南町邊に在る琴のお師匠だかごこかの下駄の齒入れやの妻だか判らない恐ろしい鼻のベチヤンコな十九世紀のモガさま、あれで聲だけは鼻にかからないとは奇体なもの(齒科醫生) ▲近頃東部電の電工が点検に來て從來の盜電捜査然たる点検と異り二人共紳士的で親切私に感じた一人である尚ほ一步進めて會社は大きく多少未納者があつても現在か料額ではその費用はあると思ふから御一考を煩したい、如何でござる。(一農民生)

第三回營業報告

昭和四年五月卅一日現在

資本金	1,000,000
準備金	100,000
貸付金	50,000
現金	20,000
債權	10,000
負債	5,000
利益	15,000

▲利益金處分案

- 一 金壹萬貳千貳百七拾八圓
- 一 金拾九錢也 當期純益金
- 一 金四千參百拾貳圓八拾九錢也 前期繰越金
- 一 金壹萬六千五百九拾壹圓五拾八錢也
- 一 金壹千圓也 法定積立金
- 一 金五千九百貳拾四圓拾五錢也 創立費銷却金
- 一 金貳千六百六拾七圓四拾參錢也 後期繰越金

木村病院

院長 木村寅次郎

内臓外科 専門 藤本順
骨關節外科 専門 藤本順
整形外科 専門 藤本順

産婦人科 科 長 木村寅次郎
婦人科 科 長 木村寅次郎
外科 科 長 木村寅次郎
産婦人科 科 長 木村寅次郎

平町新川町(電話一六四)

朝日煙突

石綿セメント製

煙突は 朝日煙突

絶対的 経済的

火災の心配がたい

特約店 釜屋商店

木村外科醫院

平町六丁目橋際

花柳病科 専門

電話三〇九番

安全第一

諸債券、公債類の御用は是非迅速簡易をモットーとする弊店を精々御利用下さい

勸業債券 兩替
復興債券 金融
公債其他 質物一般取扱

多田井商店 平町大町

安齋外科醫院

平町田町大通り(電話四三六番)

診療科目 花柳病科 外科 一般

診察時間 午前八時より午後九時まで(但し急患は此の限にあらす)

入院隨意

ユラノスケ粕取焼酎發賣

二合白瓶二十五錢(空瓶交換仕候)

平町四丁目平驛通り 永山酒造店總發賣元 電話二〇七番

大平屋藥店

栗守酒特約店

滋養、強壯劑として愈々好評 偉大なる藥酒 栗守酒

朝の一盃は精力の根原、晩の一盃は休眠の助力

前明治藥學專門學校教授阿久津先生の創製せる 動脈硬化症豫防藥

アイヨリ錠 定價二圓・六圓 徳用貳拾圓

代理店 平町五丁目角 山野邊藥局